



あったか通信



当園では、園生活の中での子どもの姿や、やさしさ、いたわりを感じる言動を「子どものつぶやき」と題し園生活の確かなあゆみとして子どもたちの心の成長を願いつつ書き留めています。

このコーナーは子どもとのふれあいの中で園長がであったことを「あったか通信」としてご紹介したいと思います。

～5歳児とお別れ給食会の会話から～
ランチルームで食事をともにして

A児：「なんでいただきますと手を合わすの？」

B児：「ほんま。わからへん。」

C児：「食べるときいうやんね、園長先生。」

園長：「ご飯も野菜もお魚もみんな生きていたものを煮たり焼いたりして、今お皿に載っていますよね。」

C児：「そうやから、いただきますと言うのやね。」

園長：「Cさんの言うとおりの、ご飯も、野菜もお魚も私たちの『いのち』をつないでくれてありがとう。いただきます。とお手をあわせてお礼を言うのです。」

「Aさん、わかったかな？」

A児：「わかった。ぼくが生きるのに、いただきますと言うのや。」

B児：「ぼくもわかった。やっぱ園長先生はお坊さんや。」

A児：「いのちと言わはるもん。」

C児：「ほんまや。」

園長：「わかってくれてありがとう。みんなで、手を合わせていただきますよう。」

一緒に給食をいただけてよかったなあ・・・のひと時でした。

